

2016年11月22日

いい ふろのひ
ノーリツ、11月26日を前に、初調査「若者層」も加え おふろに関する意識調査を発表
「デジタルネイティブ」の20代以下もおふろで「数え方」「算数」を教わり育つ
若者の8割「様々なおふろが楽しめ」「露天風呂に入れる」外湯好き

～2016年「おふろ de 功労賞」、有名人1位はあのメダリストたち～

湯まわり設備メーカーの㈱ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金201億円、東証一部上場)は、11月26日の「いいふろの日」に合わせて2004年から毎年発表している「おふろ白書」の2016年度版として、「おふろでのコミュニケーション」、「緊急災害」、「働き方改善」などのテーマに関する意識調査を実施しました。有効回答数は873人です。また、初の試みとして若者層の入浴スタイルを把握するため、20代以下の男女に追加調査を実施しました。有効回答数は232人です。本資料は調査の中から一部を抽出したもので、以下のような傾向が明らかになりました。

1. 若年層も子どもの頃におふろの中で「数のかぞえ方」(約50%)、「九九、足し算などの算数」(約40%)を教わってきた。一方で「マナー」は上の世代より低い

・デジタル世代の若年層も、おふろでは上の世代と同じく、アナログで定番な教えを受けてきたことが伺えます。一方で30代以上の世代と比較して「生活のマナーやルール」の教えを受けた割合は約30ポイント低く、親から「学業」に特化したおふろタイムの教えを受けたことが伺えます。

2. 若年層でおふろ好きな人は約80%。浴槽につかる頻度は、「ほぼ毎日」が35.8%、「浴槽にはつからない」が25.4%。「浴槽にはつからない」理由は、「時間がない」が29.7%、「水道代の節約」が14.6%。

・若者層が「浴槽にはつからない」理由から、現代の若い人は仕事、人付き合い、自己研鑽、趣味に励み日常生活に忙しいことや、節約意識が高いことが推察されます。

3. 日常生活に忙しい一方で、外湯好きな人は若者層で約80%、30代以上で約60%。好きな理由は、若者層で「様々なおふろが楽しめるから」「露天風呂に入りたいたいから」、30代以上で「広くて開放的だから」「気分転換になるから」が上位を占める。

・若者層が外湯を好きな理由は、「様々なおふろが楽しめるから」が16.7%、「露天風呂に入りたいたいから」が15.5%と上位の回答になっており、若者にとって外湯が＜楽しむ場＞であるのに対して、30代以上は、「広くて開放的だから」が16.6%、「気分転換になるから」が16.3%と上位で、＜心身のリフレッシュの場＞になっていることが伺えます。

4. おふろといえばリラックス。今年おふろにゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、1位「家族」、2位「自分」、3位に「メダリスト」。有名人では、「メダリスト」、「イチロー選手」、「安倍総理」の順に。

・おふろとリラックスということで、今年の頑張りたたえて、おふろにゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、3年連続で「家族」が1位、2位に「自分」、3位にはこの夏日本中を感動の渦に巻き込んだ「メダリスト」が続きました。有名人に絞ると、「メダリスト」に続き、今年メジャーリーグ通算3,000本安打を達成した「イチロー選手」、「安倍総理」の順になりました。

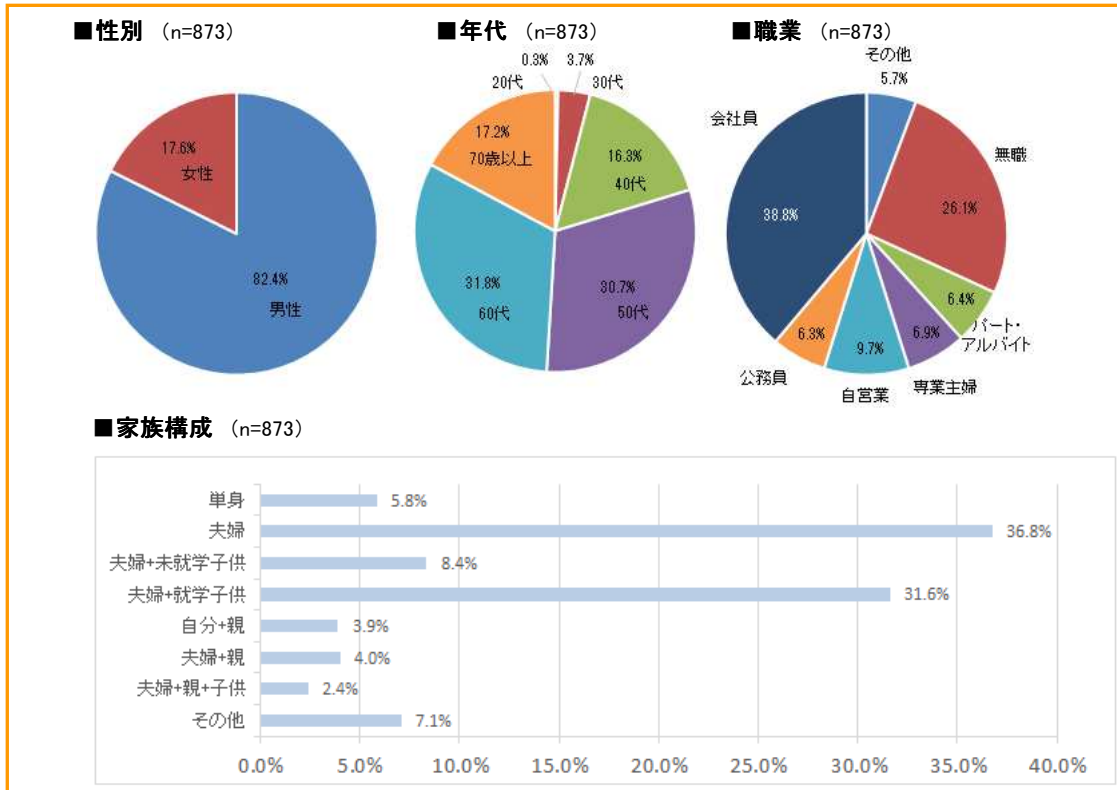
本資料は、ノーリツが実施した、全国の男女を対象におふろに対する意識を調査した「おふろ白書2016」の結果から一部を抽出したものです。テーマは2007年、2010年、2013年と同じ「おふろでのコミュニケーション」に加え、今年ならではのテーマとして、「若者とおふろ」「緊急災害」「働き方改善」に関して最新状況を調査しました。 1

※「おふろ白書2016」全文は当社ホームページからご確認ください

http://www.noritz.co.jp/library/csr/social/yoku_shokuiku/hakusho/ofuro_hakusyo2016.pdf

調査概要

- **調査目的** お風呂での家族とのコミュニケーション、若年層の入浴スタイルを把握する。
- **調査方法** Webアンケート
- **調査対象** ノーリツ製品所有者専用サイト「CLUB NORITZ(クラブノーリツ)」会員
(全国の全世代男女)有効回答件数:873件、【若者】232件のみ追加調査

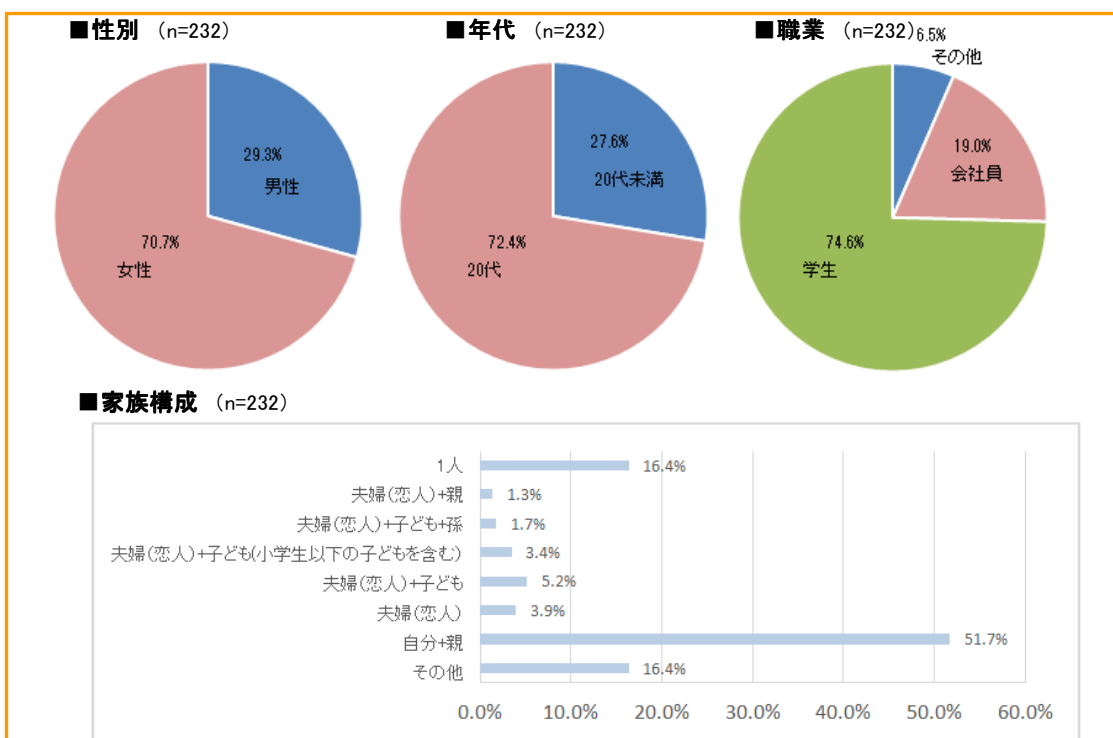


● **調査エリア** 全国

● **調査実施** 2016年9月9日～12日 (グラフ内のパーセンテージは小数点以下第2位を四捨五入しています。)

追加調査概要

- **調査目的** 若年層の入浴スタイルを把握するため、追加調査を実施。
- **調査方法** Webアンケート
- **調査対象** 全国の20代以下の男女(有効回答件数232件)

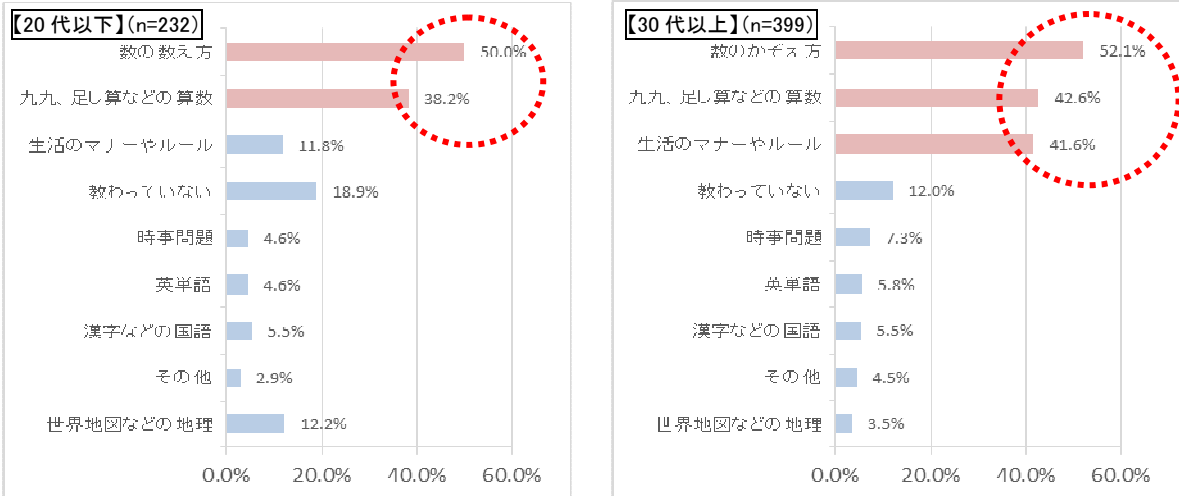


● **調査エリア** 全国

● **調査実施** 2016年9月15日～20日 (グラフ内のパーセンテージは小数点以下第2位を四捨五入しています。)

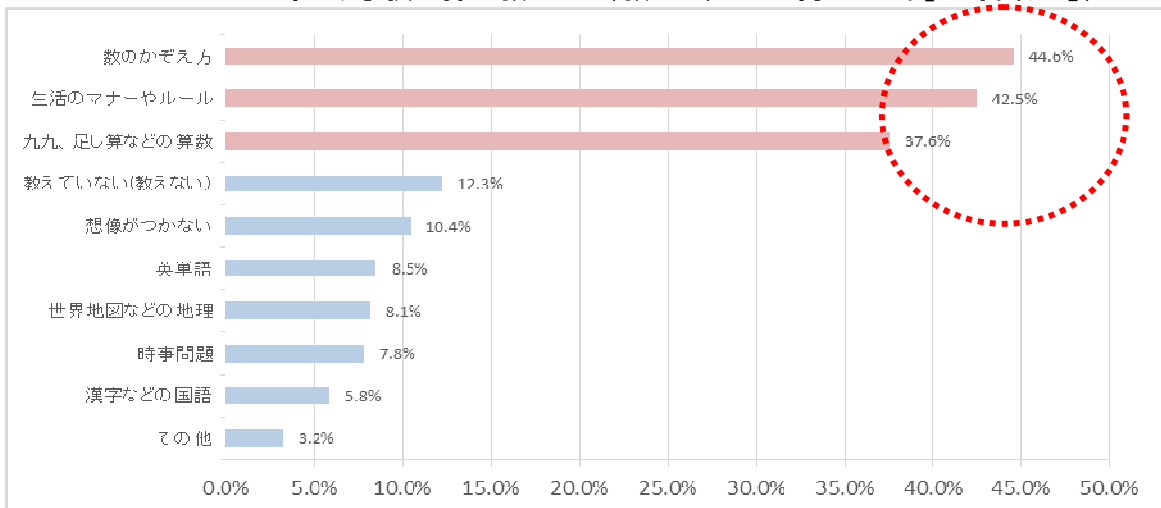
1. 若年層も子どもの頃におふろの中で「数のかぞえ方」(約50%)、「九九、足し算などの算数」(約40%)を教わってきた。一方で「マナー」は上の世代より低い

1-1.あなたが子どもの頃、おふろの中で親や祖父母から教えられたものは何ですか。



●子どもの頃に、おふろの中で親や祖父母から教えられていたことは、「数のかぞえ方」が52.1%、「九九、足し算などの算数」が42.6%となりました。20代以下のみで「数のかぞえ方」が50.0%、「九九、足し算などの算数」が38.2%と合計で過半数を占めており、おふろでの会話は世代を問わず、学業をはじめ、規律等にまで及ぶ教育の役割を担っていることが伺えます。

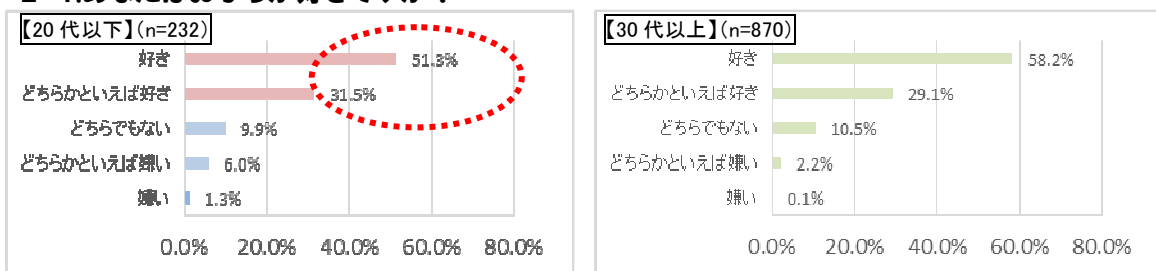
1-2.あなたがおふろの中で、子供や孫に教えたい(教えた)ものは何ですか。【30代以上】(n=873)



●一方、おふろの中で子どもや孫に教えたい(教えた)ものは、「数のかぞえ方」が44.6%、「生活のマナーやルール」が42.5%、「九九、足し算などの算数」が37.6%で、上記と同様に合計すると過半数を占めています。自身が子どもの頃、親や祖父母から教えられていたことを伝承していきたいとの意向が伺えます。

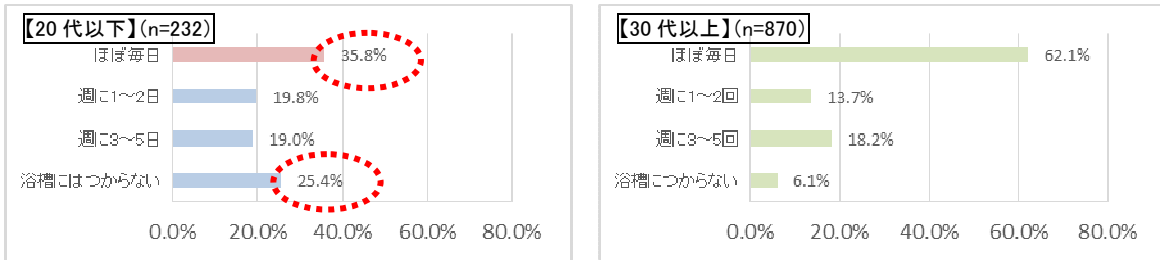
2. 若年層でおふろ好きな人は約80%。浴槽につかる頻度は、「ほぼ毎日」が35.8%、「浴槽にはつからない」が25.4%。「浴槽にはつからない」理由は、「時間がない」が29.7%、「水道代の節約」が14.6%。

2-1.あなたはおふろが好きですか？



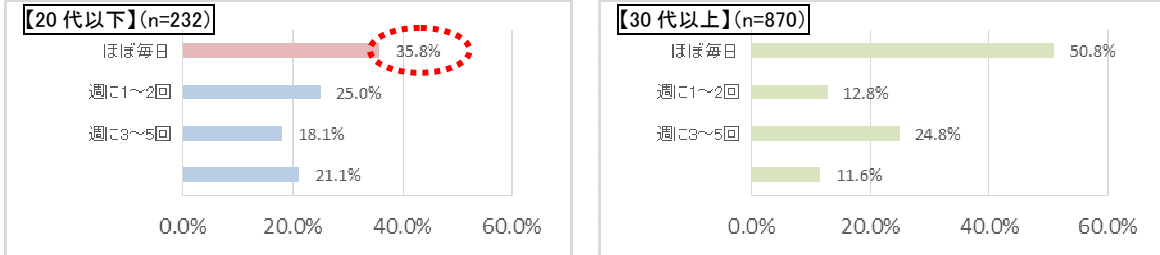
●おふろに関して、「好き」と「どちらかといえば好き」が合計82.8%と、若者の大半がおふろ好きと回答しています。

2-2.あなたが普段浴槽につかる頻度はどのくらいですか？

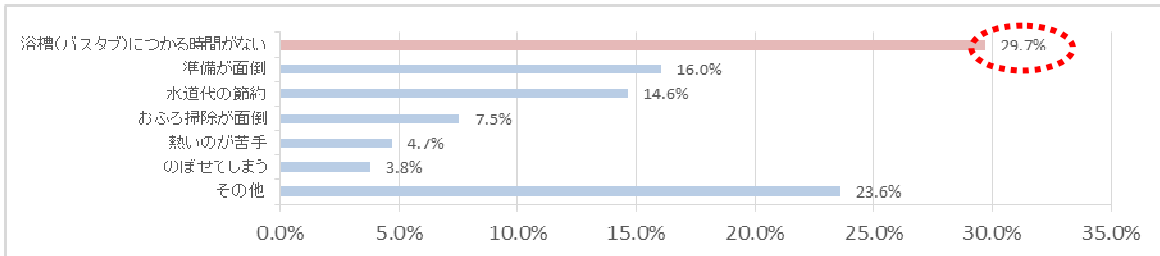


●浴槽につかる頻度は、「ほぼ毎日」が35.8%、「浴槽にはつかからない」が25.4%と行動特性が二分されています。一方30代以上は、「ほぼ毎日」が62.1%と日常的に浴槽につかる層が顕著に多い傾向が見られます。

2-3.浴槽につかずにシャワーのみを利用する頻度は？



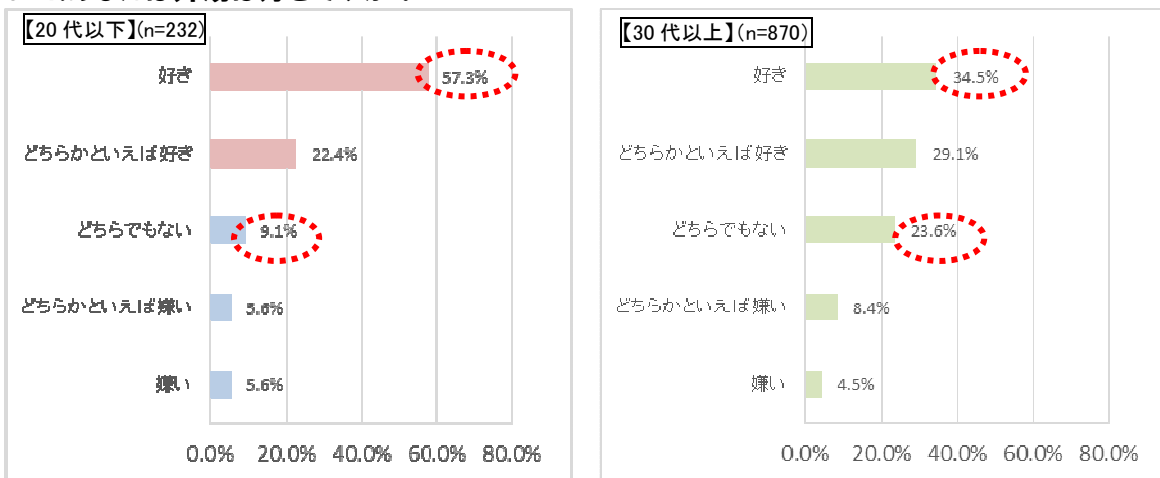
2-4.浴槽につかからない、シャワーがほとんどの理由は？【20代以下】(n=232)



●シャワーのみを利用は「ほぼ毎日」が35.8%、若者が浴槽につかからない理由は、「時間がない」が29.7%と最も高く、次いで「準備が面倒」16.0%、「水道代の節約」14.6%の回答で、日常生活に忙しいことや、節約意識が高いことが理由と推察されます。

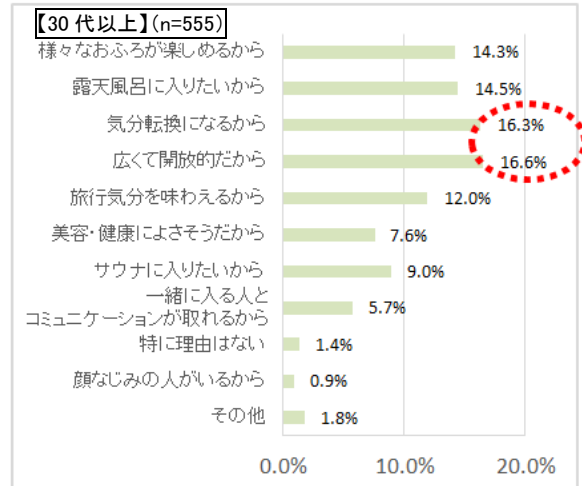
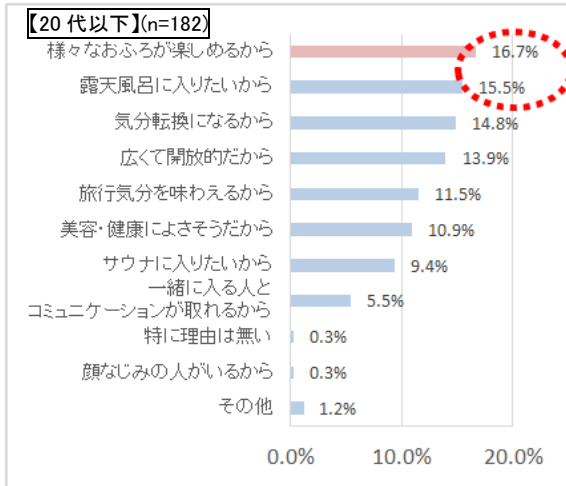
3. 日常生活に忙しい一方で、外湯好きな人は若年層で約80%、30代以上で約60%。好きな理由は、若年層で「様々なお風呂が楽しめるから」「露天風呂に入りたいから」、30代以上で「広くて開放的だから」「気分転換になるから」が上位を占める。

3-1.あなたは外湯は好きですか？



●外湯が好きかという質問に対しては、30代以上の「好き」は34.5%と若者よりも顕著に低く、そして「どちらでもない」が23.6%と若者と比較して14.5ポイント高い回答になっています。一方、若者は「好き」が57.3%、「どちらかといえば好き」が22.4%の回答で、若者の大半が外湯を好む傾向が見られます。

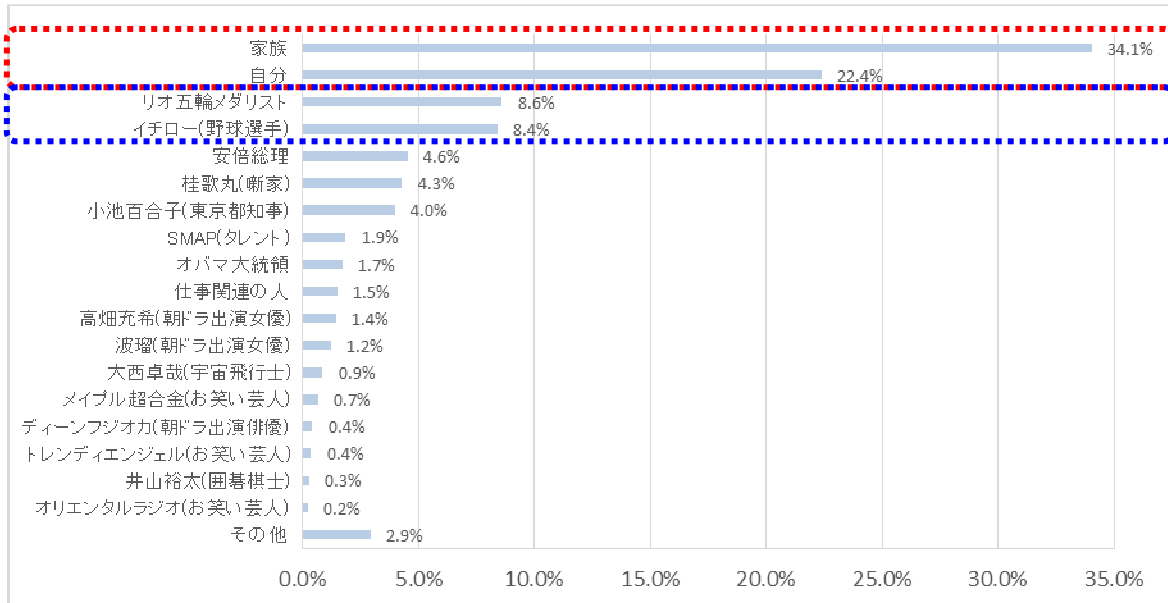
3-2. 外湯が好きな理由は何ですか？



●若者の外湯が好きな理由は、「様々なお風呂が楽しめるから」が16.7%、「露天風呂に入りたいから」が15.5%と上位の回答になっており、外湯が＜楽しむ場＞であるのに対して、30代以上は、「広くて開放的だから」が16.6%、「気分転換になるから」が16.3%と上位で、＜心身のリフレッシュの場＞になっていることが伺えます。

4. お風呂といえばリラックス。今年お風呂にゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、1位「家族」、2位「自分」、3位に「メダリスト」。有名人では、「メダリスト」、「イチロー選手」、「安倍総理」の順に。

4.あなたが今年お風呂にゆっくりつかってほしいと思う人は誰ですか？【30代以上】(n=873)



お風呂といえば「リラックス」。

今年頑張ったことをたたえて、ゆっくりお風呂につかってほしい人を尋ねました。

- お風呂にゆっくりつかってほしい人は「家族」がトップ！次点の「自分」の回答を合わせると、50%と大多数を占めました。お風呂は、「家族」や「自分」にとって、癒しや安らぎとなる存在と考えられています。
- 4位は、過去最高のメダル数を獲得した「リオ五輪メダリスト」、5位はメジャーリーグで通算3000本安打を達成した「イチロー選手」が上位にランクインしました。

以上

【11月18日・19日イベント実施ご報告】

「11月26日“いいふろ”の日」を前に 浅草でおふろの新たな魅力を発信する 『足湯 de ワールドカフェ 2016』を開催しました

大学生中心に運営する“おふろ部” 記者発表・足湯体験・おふろストレッチなど

㈱ノーリツは、外国人や日本人観光客などが多く訪れる秋の浅草で、おふろの新たな魅力を発見できる期間限定の足湯イベント『足湯 de ワールドカフェ 2016』を11月18日(金)から2日間、浅草の商業施設「まるごとにつぼん」にて開催しました。

期間中は、無料で足湯体験のほか、おふろの知識を学べるステージショーにバスボム作りワークショップなど、期間中延べ約1000名のお客さまにイベントにご参加いただきました。



ステージショーでは若者目線で
おふろの魅力を発表しました



足湯のお客さまへおふろ王子より
ストレッチや豆知識を伝授



お子さまやご家族にも
楽しんでいただきました



ワークショップは毎時間満員御礼

イベントでは、大学生中心に運営するキュレーションサイト“おふろ部”からメンバーが参加し、「おふろ白書2016」でも取り上げた若者層の入浴スタイルや、おふろをもっと楽しむための工夫などを若者目線で紹介しました。他にもおふろについて日々研究する“おふろ王子”から、おふろのできる「おふろストレッチ」を伝授するなど、お子さまからご年配の方々、外国人観光客へも幅広くイベントを楽しんでいただきました。



足湯とおふろストレッチで
日々の疲れを撃退

イベント会場には、カフェでの会話を楽しむようにリラックスした空間で意見交換をするワールドカフェ[※]の要素を用いて、参加いただいたみなさまよりメッセージカードを記入いただき、参加者全員で“おふろの魅力”を発信するメッセージボードも完成しました。

※ワールドカフェ: 米国発祥の各々が自由にリラックスした状態で意見を交換しあう新しい手法

浴育を広めるゆるキャラ“ヨクーン”も登場し、多くのお客さまと交流、新たなおふろの魅力を国内外に発信することができました。



参加者全員でメッセージボード完成!

今後も㈱ノーリツでは、「新しい幸せを、わかすこと。」を目指して、日本の文化であるおふろの魅力をより多くの人へと伝えていくための活動を積極的に進めてまいります。